

最優秀賞 「離乳食にカンパイ」

松井 奏子

難しい顔をして離乳食を食べない娘。食べる以前に口を開けてくれないのはどうしてだろう。せっかく時間をかけて作ったのに…という不満でいっぱい。初めての育児で悩み、色々調べると驚くことが書いていた。

「ママの顔、笑っていますか？ちゃんと食べてくれるか心配でママが不安そうな顔をしていませんか？」

驚いたけど、それは当然の内容。色々話し掛けながら食べさせていたけど知らず知らずのうちに難しい顔をしていた私。作ること、与えることに必死で忘れてしまっていた一番大切な「笑顔」

食事は楽しい時間だと教えてあげたい。私が変わらなきゃ。

「これ、蓮根！穴が開いていて可愛いねえ！ママ、蓮根大好きやから一緒に食べようか！」

初めて食べさせる食材は今でもやっぱりドキドキするけど笑顔でプレゼン。私の笑顔につられて娘は笑顔でどんな料理もパクパク。今では色んな人に

「しっかり食べてお利口ね。ママの料理が美味しいのかな？コツは？」

ってよく聞かれるけど味付けは素材の味を重視して薄味。一番のコツは私が笑顔でいること。すると娘も笑顔になって更に私も笑う。食卓はいつも笑顔が溢れる。トマトを食べて酸っぱそうな顔をする娘の顔も笑えるし、テーブルや椅子にご飯粒をたくさんつけながら手づかみ食べを頑張る姿も笑顔で応援する。後片付けが大変そうだな、と思うけどアゴやほっぺにご飯粒をつけてる娘の顔を見ると笑わずにはいられない。

以前は離乳食に完敗していたけれど今は離乳食に乾杯。これからも一緒に楽しく色んな料理を食べていこう。

娘は現在一才二ヶ月。離乳食も完了期。彼女がもう少し大きくなった頃、一緒に栽培できるように私は今年、家庭菜園デビュー。食べ物を育てる大変さ、収穫の喜び、それを料理する楽しさ、自分で育てた野菜の美味しさと感謝の気持ちをいつか教えられるように私も娘と共に成長していきたいと思う。